

脱原発を実現するにはどうすればいいか

ー脱原発運動をする皆さんから意見を聞く集いー

私たち「政治を考える市民の会」は2013年5月9日に発足した市民団体で、「脱原発」「憲法改悪を許さない」を政策として掲げる政党・政治団体が、国政選挙において政策実現のために連携・共闘することが出来るよう、その実現を目指して活動しています。

2012年12月の衆院選においては多くの人が脱原発を願いながらも、いろいろな政党や政治団体からの立候補があって、脱原発という民意を集中させることができませんでした。その結果成立した安倍政権は、原発をベースロード電源と位置づけ、原発の再稼働をもくろんでいます。しかし、ここ数年間日本では原発の稼働なしでやってきており、今も多くの人が原発の再稼働に反対し、原発のない社会を望んでいます。

なぜ、多くの人々の望むこと（民意）と政策とがこうも違うのでしょうか？

各地で反原発・脱原発の運動が連日行われているのに、なぜ政府を脱原発の方向にさせることができないのでしょうか？

そこで私たちは、「脱原発を実現するにはどうすればいいか」というテーマで、脱原発運動をする皆さんから、意見を聞く集いを開催することとしました。

脱原発を掲げて活動している愛知県内の市民団体・個人からの報告・意見を聞き、脱原発を実現するにはどうすればいいかを一緒に考えたいと思っています。

ぜひご参加下さい。

記

【日時】2014年7月13日（日）午後2時30分～4時40分

（午後1時30分～2時20分は市民の会『総会』）

【場所】名古屋YWCA 2階ビッグスペース

【プログラム】

（1）状況報告「政府の動きなど原発をめぐる状況報告と問題提起」

河田昌東さん（NPO法人チェルノブイリ救援・中部）

（2）発言者（50音順）

@安楽知子（脱原発！中電株主といっしょにやろう会）、

@大沼淳一（未来につなげる東海ネットワーク）、 @西英子（脱原発運動）、

@平山良平（中電前金曜行動）、 @藤原葉月（関電前金曜行動）、

（3）フロアーを交えての意見交換

（4）各発言者からひとこと

【参加費】300円

【主催】政治を考える市民の会

共同代表：池住義憲（大学教員）、内河恵一（弁護士）、永山峰子（名古屋YWCA理事）、

河田昌東（NPO法人チェルノブイリ救援・中部理事）

（連絡先）名古屋市熱田区伝馬 1-2-25-803

電話・FAX：052-671-6537（藤井）

メール：seiji.shimin@gmail.com